

20の

ツレトク



長井 紋子さん
茨城県日立市在住
(関沢出身)

◆はたち二十歳の私

今年、二十歳になった自分がいる。

いざ、ここに二十歳であるという自分を認識した時、何か不思議さを感じている今日こんにちである小さい頃、私が想像していた二十歳はこんな人間だったのであろ

うか。二十歳の時にはあんなふうになりたい、こんな職業に就きたいなど、いろいろな夢や願いを持っていたと思う。

ところが、今の私はどうだろうか。二十歳というのは、人生

の中で大きな節目であるというのに、今の自分は何も変わらずにいるのである。想像していた二十歳とは全くといっていいほど違っているのである。

二十歳になつて考えることは、このままの人間ではいけないということである。しっかりとした人間にならなければと思う。大人にならなくてはいけないのである。しっかりと自分の考えを持つことや、自分の行動に責任を持つことなど、たくさん大人としてやることはあるのである。

そのために、私は今、そしてこれから、自分なりのペースで、自分のやらなければならぬことをしていくべきと考えている。

二十歳になつて考えることはたくさんあるけれども、自分なりに考え、大人として過ごしていききたいと思う。



「期待が大きい マデイライフ」

これまでの村の振興計画づくりでは、最後に「さて、何と目標の言葉をつけるか」という方法をとってきました。

今回、第5次振興計画では、計画づくりに入る前に、基本理念を出させていただきました。それは、「スローライフ」です。「ゆつたりした暮らし」ということでしょうか。

「この不景気に何を考えているのか」「役所の悪いところは何事も遅いこと。それをさらにスローにする気か」などという声が多かったので、飯館流に「マデイライフ」と言い換えました。「マデイ」とは英語ではありません。私たちが、昔よく使っていた「までいに食べるよ」「までい

に仕事を」のマデイです。つまり、「ていねいに」「大切に」「念入りに」「手間ひま惜しまず」「時間をかけて」「心を込めて」「つつましく」という意味にとつてよいでしょう。

そのような考えを頭に入れて、産業、建設、福祉、教育などそれぞれ計画づくりを進めていけば、後からつけるより良い計画になつていくと思うのです。

さて、この「マデイライフ」、あつという間に村内だけでなく県内でも話題になつていくようです。佐藤県知事が「これから経済至上主義、効率一辺倒だけではダメな時代。今飯館村でその計画づくりをしている」との話をあちこちで出してもらっています。こんなに期待されている第5次計画づくり。多くの村民の方に苦勞をかけますが「さすが飯館だね」と言われるように、皆で作つて行きたいものです。

平成15年5月26日

飯館村長 菅野 典雄